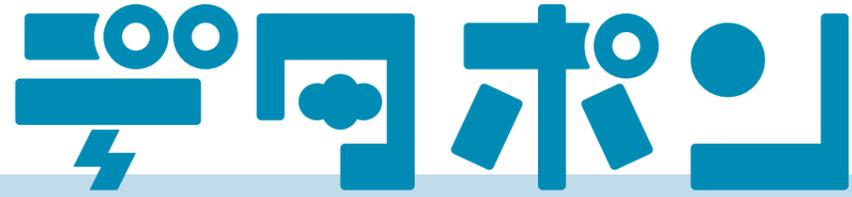


使い方の紹介動画を市YouTubeチャンネルで公開中

合志市の情報を配信中

テレビ(データ放送)を利用した住民情報サービス



Data broadcasting for Tactics Against Pressing disaster Of Neighborhood

デタポンとは RKKテレビのデータ放送でいつでも市の情報を見ることができます

詳しい使い方を動画で紹介しています



「デタポンを見るためには、テレビのリモコンのどのボタンを押せばいいのか」など、具体的な使い方をご存知ですか。

市YouTubeチャンネルで公開中の動画では、RKKのアナウンサーが、使い方を順番に分かりやすく紹介しています。また、動画ではデタポンをまだ見たことがない人に向けて実際のテレビ画面も使用しています。市YouTubeチャンネルをぜひご覧ください。

デタポンの使い方については、市ホームページでも紹介しています。



▲市YouTubeチャンネル



▲市ホームページ

スマートフォンをお持ちの人はこちらもあります

スマートフォンアプリ



Downloadはこちら!



マーケットで デタポン 検索して下さい。

※アプリは無料ですが、パケット通信料はお客様のご負担になります。
※Androidはドコモの動作確認を行っています。

▶デタポンについて

- ・データ放送に対応していないテレビでは見られません。
- ・難視聴地域ではサービスを受けることができない場合があります。
- ・送信所の保守点検などで、深夜サービスを停止する場合があります。
- ・番組によっては、データ放送内容を変更し、本情報を表示しない場合があります。

▶ご注意ください

デタポンに関して、市役所などから電話したり、自宅を訪問したりすることはありません。
(デタポンはRKKの登録商標です)

●問い合わせ先 企画課 ☎096-248-1813

男女共同参画推進懇話会 使い易い

男女共同参画推進懇話会

大山 寛さん

(西合志南中学校 校長)

『男女共同参画推進』と

『志合せて夢実現プロジェクト』

小中学生での男女共同参画についての学びは、日常生活の中で平等な役割分担や、性別に基づく固定観念をなくすように促すことが重要と言われています。

市の全ての小中学校では、中島教育長提案の『志合せて夢実現プロジェクト』という取り組みを共通実践し、こどもたちの夢を実現させるための基盤づくりを行なうこととなっています。このプロジェクトは、Myプロジェクト、Homeプロジェクト、Schoolプロジェクト、Communityプロジェクト、Koshi Cityプロジェクトの5つのプロジェクトで構成されています。

また、このプロジェクトの1つである『Homeプロジェクト』は、次の3つの取り組みを家庭で実践してもらうよう、各小中学校からお願いをしています。

①『挨拶・返事』 先に挨拶と返事の「ハイッ」に取り組みましょう。

②『家事分業』 役割作りこそ居場所作りです。みんなで家事を分業しましょう。

③『会話』 心を傾けたノーマディア会話を大切にしましょう。

②の『家事分業』では、性別に関係なく責任を共有することの大切さを学ぶことができることに加え、家庭での自分の役割が居場所作りにもつながっていきます。自分のことは自分です。だけでなく、誰かの役に立つことをして喜ばれること(他への貢献)は、人を大きく成長させることもできます。

ぜひ、各家庭で、今一度、『家事分業』について話題にしてほしいと思います。



▲市ホームページ 男女共同参画

※『志合せて夢実現プロジェクト』について詳しく知りたい人は、市の各小中学校のホームページにアクセスしてください

こちら消費生活センターです

●問い合わせ先 市消費生活センター(安全安心課内) ☎0960(2)48(5)442
相談受付時間 平日 午前10時~午後4時

突然の電話や訪問に注意

事例1

「明日〇〇の点検に伺います」と電話があった。取引のある事業者(A)だと思いましたが、気になって(A)に確認すると、そのような電話はかけていないと言われた。訪問してきたらどうすればいいか。(70代 女性)

解説

センターでは事業者の信用性については判断ができません。本当に瓦がずれているのか、別の業者に見てもらうなどして対応しましょう。

アドバイス

「点検した後、劣化がある、交換が必要などと言われ、商品やサービスの契約を結んでしまった」〇〇の点検が法律で義務化されていると電話があった」という相談も寄せられています。

最近、テレビや新聞などで強盗事件のニュースを見聞きします。犯罪の下見のために訪問し、家族構成や資産状況を電話で聞き出すこともあります。訪問はインターホンでの対応や留守番電話の設定などが効果的です。

事例2

「近くで工事をしているのだが、お宅の屋根瓦がずれている。放っておくと雨漏りする」と訪問があった。応急処置をするというのでお願いした。家の様子も見るといったが、それは断った。信用できる業者なのか。(80代 男性)

困ったときは消費生活センターへご相談ください。



▲市消費生活センター